

2023年5月1日

上智学院理事長 アガスティン サリ  
上智学院カトリック・イエズス会センター長 李 聖一

## 2023年度(第4回)教皇フランシスコ来学記念表彰について(募集要領)

教皇フランシスコの来学(2019年11月26日)の記憶を永くとどめるため、上智学院は2019年度末に「教皇フランシスコ来学記念基金」を創設しました。この基金の目的は、教皇フランシスコのメッセージ『叡智の座の大学で学ぶ者へ』の中に込められている様々な課題への取り組みを支援することにあります。貧困や社会的弱者の課題、多文化共生社会の実現や、SDGsなどに取り組む教育・研究活動、学生・生徒活動への支援をより強化するとともに、基金の目的に適う特別奨学金制度も準備しています。

この基金による事業の一つとして、2020年度に記念表彰制度を設立しました。既に上智学院の各校では、「For Others, With Others」の教育精神のもと、こうした取り組みが発見に行われてきましたが、本制度は教皇フランシスコの来学を機に、そのメッセージを体現する活動を広く学内外に共有し、さらに促進するため表彰を行うものです。

2023年度(第4回)の表彰は、下記の要領にて公募し、選考委員会の審査を経て実施いたします。ぜひとも、様々な取り組みについて、応募くださるようお願いいたします。

### 記

#### 【2023年度(第4回)教皇フランシスコ来学記念表彰応募要領】

##### 1. 表彰対象:

上智学院及び設置する各校の生徒、学生、教職員、卒業生が取り組んでいる、教皇フランシスコのメッセージを体現する教育研究活動、課外活動、業務実践などの諸活動。

\*開始時期は問わないが、2023年に取り組みを実施しているもの。

\*過去に応募実績がある団体(或いは個人)の場合、教皇フランシスコのメッセージに込められた課題への取り組みが、新規且つ規模の大きな事業/活動であること。

##### 表彰事業例:

- (1) 貧困者及び社会的弱者を支援する事業
- (2) 移民及び難民を支援する事業
- (3) 多文化共生社会の実現にかかわる教育研究活動
- (4) SDGsにかかわる教育研究活動
- (5) 若者とともに歩む教職員の実践的活動
- (6) イエズス会使徒職全体の方向づけ(UAPs)にかかわる諸活動
- (7) 教皇来日來学時のメッセージを体現するための諸活動

\*教皇フランシスコ来学時のメッセージ『叡智の座の大学で学ぶ者へ』

[https://www.sophia.ac.jp/jpn/news/PR/Message\\_20191126.html](https://www.sophia.ac.jp/jpn/news/PR/Message_20191126.html)

\*イエズス会使徒職全体の方向づけ(UAPs)

<https://dept.sophia.ac.jp/jec/news/15/>

2. 応募資格:

- (1) 自薦の場合: 上智学院及び設置する各校の生徒、学生、教職員。学院の設置する事業会社社員、卒業生、後援会員、イエズス会員が構成員に含まれることも可。
- (2) 他薦の場合: 上智学院及び設置する各校の生徒、学生、教職員による推薦とする。推薦対象には、卒業生、後援会員など、学院及び各校と関わりのある活動を含む。

3. 応募申請書:

- (1) 自薦の場合: 様式Ⅰ「2023年度(第4回)教皇フランシスコ来学記念表彰申請書」
- (2) 他薦の場合: 様式Ⅱ「2023年度(第4回)教皇フランシスコ来学記念表彰推薦書」

\*様式をダウンロードして必要事項を入力したうえでメール添付にて以下に送信してください。

\*申請書提出先 catholic-co@sophia.ac.jp

4. 応募期間: 2023年12月11日(月)~2024年1月9日(火)

5. 選考及び表彰式: 2024年1月~3月

選考委員会(委員長: 上智学院理事長)による審査を経て、中等教育部門(中学高等学校4校)、高等教育部門(大学、短期大学部)のそれぞれから表彰者を選考します。受賞者には、理事長から表彰状、副賞(賞金: 団体20万円、個人10万円を予定)を贈呈します。

表彰式の日程等は改めてお知らせします。

6. 注意事項:

- (1) 取り組み内容の確認のため、事務局から連絡をすることがあります。
- (2) 表彰者については、上智学院ホームページ等で公表します。
- (3) 選考結果についてのお問合せ、異議の申し立てはお受けできません。
- (4) 受賞した活動については、各校ホームページ、発行物等で紹介予定です。

7. 問い合わせ先:

上智学院カトリック・イエズス会センター【教皇フランシスコ来学記念表彰担当】

catholic-co@sophia.ac.jp

## 8. 過去の受賞内容:

### 【2020年度(第1回)】

No	受賞者			受賞タイトル
1	個人	大学職員	財務局管財グループ 藤本恵夫	四谷キャンパスのCO2の大幅な削減を実現
2	団体	大学生	Sophia Refugee Support Group	難民の方々への支援のみならず、難民問題を理解するためのさまざまな活動を実施
3	団体	大学生	「めぐこ」-アジアの子どもたちの自立を支える会	インド・フィリピンの子どもたちへの学資支援を通じて教育を受ける機会を保障
4	団体	大学生	ソフィア オリンピック・パラリンピック 学生プロジェクト Go Beyond	東京 2020 オリンピック・パラリンピックを契機に誰もが輝ける社会の実現を目指す
5	団体	大学卒業生	上智大学ソフィア会 金祝燦燦会	外国人留学生の支援・交流を活動の中心におき、留学生の心と生活を支援

### 【2021年度(第2回)】

No	受賞者			受賞タイトル
1	団体	中等教育部門 学生	六甲学院中学校・高等学校 社会奉仕委員会	社会奉仕活動・インド募金・インド訪問
2	団体	中等教育部門 (広島学院) 卒業生	一般社団法人 自分ごと化プロジェクト (代表理事: 鈴木健斗)	自分ごと化プロジェクト
3	個人	大学生	法学部 国際関係法学科 4年 和田 早織	国連機関 Youth and United Nations Global Alliance (YUNGA) の Ambassador の拝命、及び The Round Table of Global Seekers (RTGS) の設立

### 【2022年度(第3回)】

No	受賞者			受賞タイトル
1	個人	教員	総合人間科学部看護学科・助産学専攻科助教 光武 智美	「いのちのおもさ展」及び継続されてきた諸活動
2	個人	大学卒業生	国際教養学部国際教養学科卒業 酒井 有理弥	アーティスティック・ウクライナ/ ARTISTIC UKRAINE
3	個人	大学卒業生	国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) ジュネーブ本部 緊急事態・保安・供給局長 外国語学部フランス語学科卒業 下澤 祥子	国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) での難民が直面する諸問題の解決への支援活動
4	団体	大学生	「めぐこ」 アジアの子どもたちの自立を支える会	インド・フィリピンの貧困家庭の子どもたちの初等教育支援活動

5	団体	大学生	STP カンボジア	カンボジア・シエムリアップ州ワットチョー中学校における 英語教育支援活動
6	団体	大学生	Sophia Refugee Support Group	難民・亡命希望者への直接的な支援活動及び本学ウク ライナ避難民学生への支援活動
7	団体	中等教育部門 学生	栄光学園中学高等学校 愛の運動委員会	児童養護施設への学習支援、施設訪問、施設招待等 の活動

以上